よしみ
議会だより

平成30年
9月定例議会

No.153

● 平成29年度決算　P２～
● 主な議案の内容　P４～
● 一般質問に5名登壇　P14～

「力を合わせて」ピラミッド完成

図書館等複合施設外観イメージ図
（2021年3月完成・7月開館予定）

平成29年度の決算を認定

9月定例会は、9月4日から9月21日までの18日間の会期で行われました。

今定例会は、平成29年度の各会計決算認定、平成30年度一般会計及び特別会計等補正予算、条例の一部改正、人事案件等28議案（請願及び発議を含む。）が上程されました。請願第1号は不採択となり、その他の議案については、可決、認定、同意、採択されました。

各種会計決算収支状況

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計		72億8083万7058円	67億2708万6820円	5億5375万 238円
特別会計	国民健康保険特別会計	30億6855万 403円	27億 530万1672円	3億6324万8731円
	後期高齢者医療特別会計	1億7012万4672円	1億6761万9458円	250万5214円
	介護保険特別会計	14億9626万6440円	14億3618万1460円	6008万4980円
	百穴管理特別会計	3771万8466円	2077万4948円	1694万3518円
	下水道事業特別会計	6億2150万5261円	5億6840万 565円	5310万4696円
	農業集落排水事業特別会計	2億8198万4629円	2億6754万3362円	1444万1267円
	公設浄化槽事業特別会計	2081万 326円	1716万4438円	364万5888円

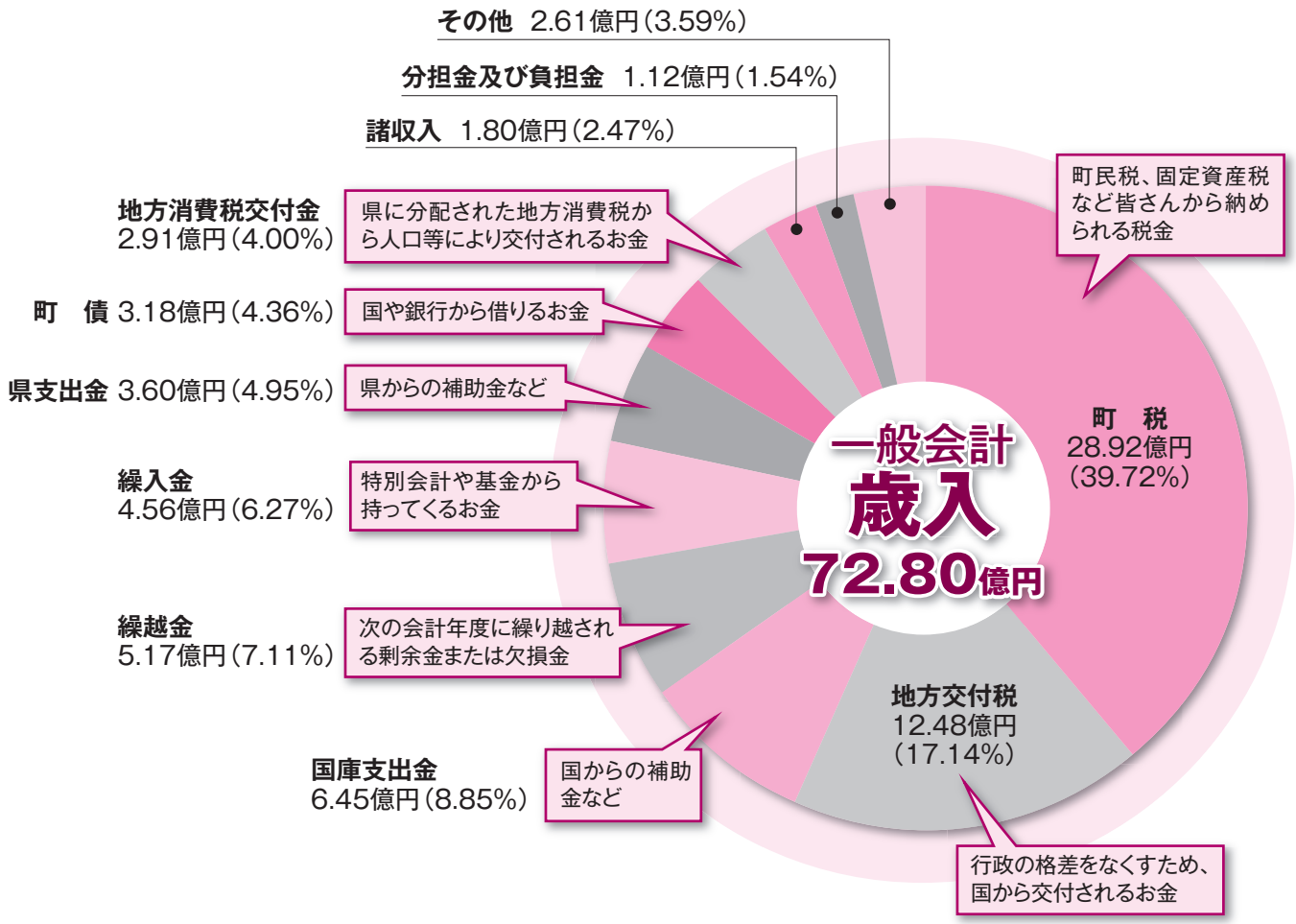
水道事業会計

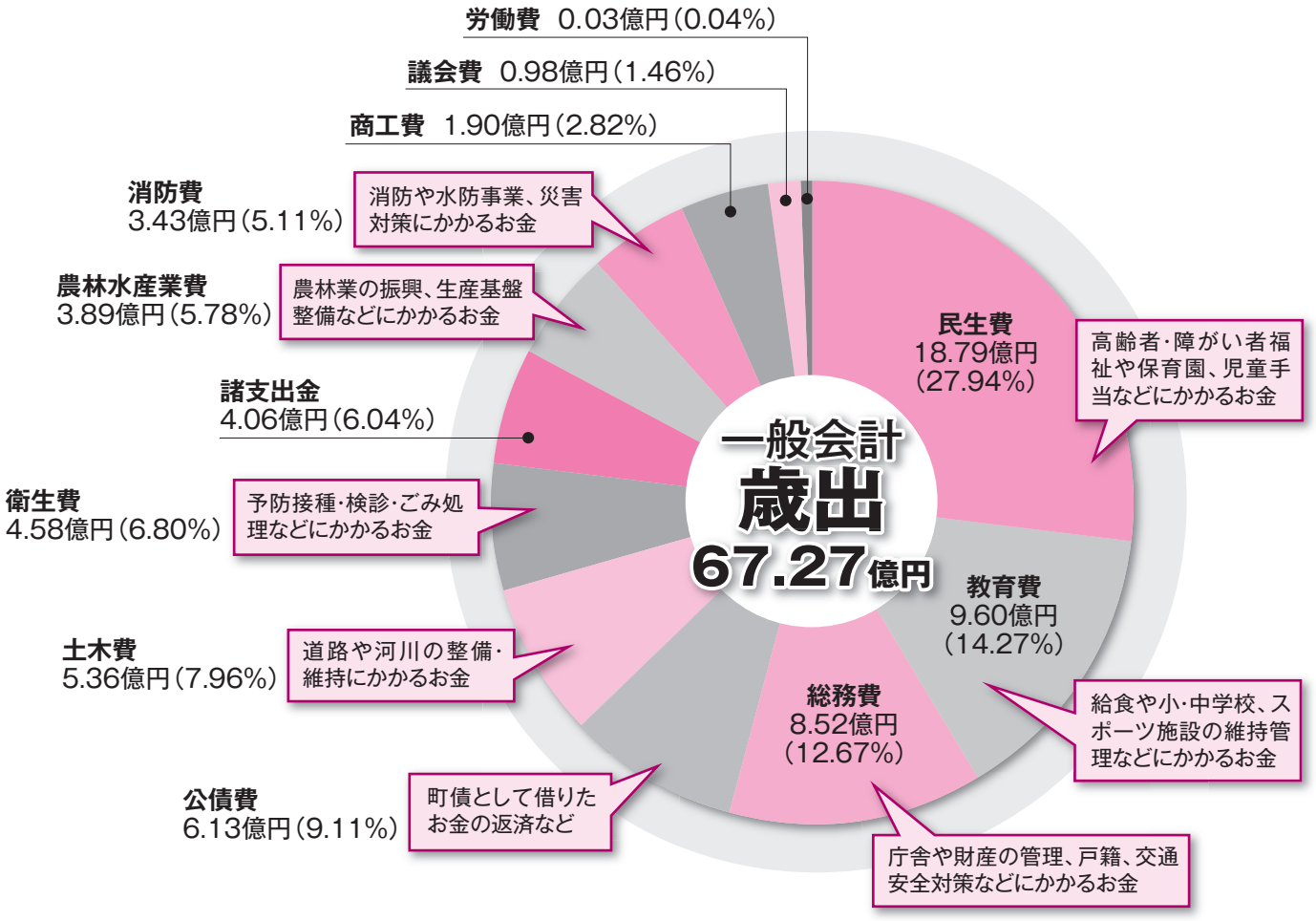
収益的収入及び支出
収入　6億5760万3670円
支出　6億5715万4102円

資本的収入及び支出
収入　3378万9800円
支出　2億9915万2590円

※収入不足については、損益勘定留保金などにより補てんしました。

平成29年度一般会計決算収支状況





主な議案の内容

※質疑等があった議案を掲載しています。

●議案第51号　税条例等の一部改正

賛成多数

内　容　地方税法等の一部改正に伴い、町民税、たばこ税、軽自動車税に関する関係規定の整備を行う

主な質疑

問　給与所得控除の上限が1000万円から850万円に引き下げられるが、対象人数は。

答　新たに対象となる方が約250人、現行で対象となっている方が約200人で合計約450人と想定される。

議員：基礎控除と所得控除はそれぞれどのような理由から控除制度としてあるのか。

提出者：所得控除は、それぞれの事情で税金を負担する力は異なるため、それらを考慮した税負担とするためのもの。基礎控除は、憲法第25条の生存権に沿った制度で、最低限度の生活を維持するために必要な収入を守るために創設されたもの。

反対討論　日本共産党　杉田しのぶ議員

議員：地方税制の見直しよりも、所得が1億円を超えると税負担が下がる富裕層の優遇税制や株の配当所得の分離課税の見直しなど、本来行うべき税制の見直しを国はやるべき。

●議案第52号　重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正

賛成多数

内　容　県の補助金交付要綱の改正に合わせ、町の支給条例に所得制限の規定を設ける（平成31年1月以降新規申請者のみが対象／既存の受給者は平成34年10月から適用）

※5ページ上段参照

主な質疑

問　所得制限の導入により、対象となる人数は。

答　平成29年度の所得状況で試算した場合、15名。

本事業の目的は。

医療給付費に係る一部負担金を助成することにより、重度心身障害者の福祉の増進を図ること。

議員：県で所得制限を導入するが、町負担分は継続していくということは考えなかったのか。

提出者：県が所得制限を導入する目的や近隣市町村の動向をはじめ、様々な角度から検討した結果、支給対象者を真に経済的な給付を必要とする方に限定することにより、負担の公平性を図る必要があると判断した。

反対討論　日本共産党　杉田しのぶ議員

議員：本制度は、重度の障がいをもって生活をされている方の福祉、いわゆる幸せを増進させるための制度である。収入によって対象外とすることは、制度の目的にも反するものである。

※■所得制限基準額

扶養親族の数	所得制限基準額
0人	3,604,000円
1人	3,984,000円
2人	4,364,000円
3人	4,744,000円
4人	5,124,000円
5人	5,504,000円

○基準額と比較する額
総所得金額－各種控除＝基準額と比較する額

○各種控除
障害者控除、特別障害者控除、寡婦控除、
医療費控除、社会保険料相当額、等々

※特定扶養親族がある場合は、一人につき25万円を所得制限基準額に加算
※老人控除配偶者、老人扶養親族がある場合は、一人につき10万円を所得制限基準額に加算

●議案第74号　平成30年度一般会計補正予算（第3号）　全員賛成

内　容　既定の予算額に252万9千円を追加し、予算総額を65億7817万5千円とする

－歳入－（1万円未満切り捨て）
○繰入金　252万円

－歳出－（1万円未満切り捨て）
○北公民館屋根改修工事　523万円
○財政調整基金積立金　△270万円

主な質疑

問　北公民館のこれまでの点検方法は。

答　月一回、職員が建物周りと館内点検を目視で実施。地震や台風発生時などの時は、別途職員が点検を実施している。

問　台風（21号）により屋根材が飛散し、近隣農家に被害があったと聞いている。損害賠償の考えは。

答　職員により再度田んぼの落下物の確認を行い、収穫したもみの中に混入した異物は色彩選別機にかけ取り除いた。選別にあたり減量してしまったこともあり、補償については今後丁寧に対応する。

問　建物共済の保険料が確定していない時点で補正予算を提出した理由は。

答　利用者の安全確保のため。

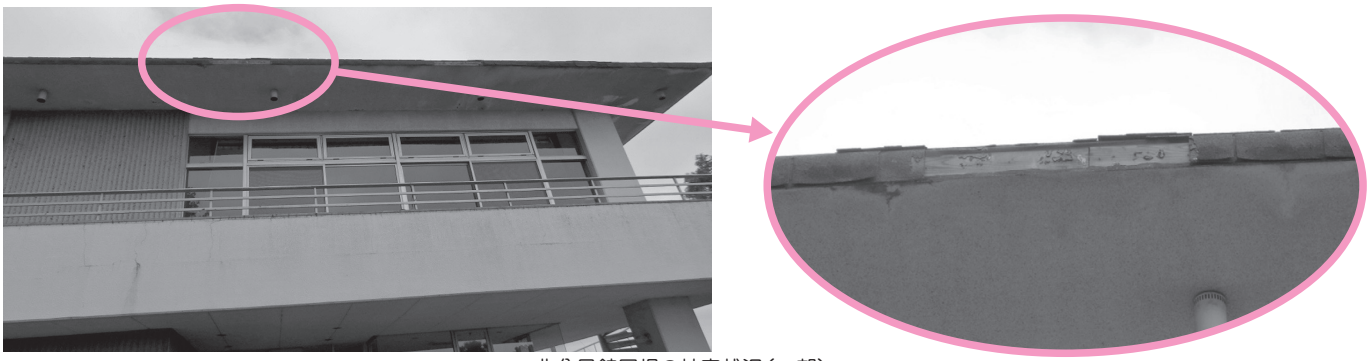
問　屋根材の変更、ガルバリウム鋼板に決めた理由は。

答　設計時の設計図書や専門家の意見を参考に、軽量でさびにくく長寿命型であるため。西公民館の屋根材についてもガルバリウム鋼板で実施している。

問　公共施設の老朽化が進む中、以前から指摘している個別施設計画策定の早期実施が必要ではないか。

答　平成32年度までに策定を予定している。平成30年度は、各課ヒヤリングを実施。平成31年度は、施設ごとの点検、診断、ライフサイクルの試算を実施。住民説明会やワークショップなども考えている。

議員　提出者



北公民館屋根の被害状況（一部）

●議案第54号　平成30年度一般会計補正予算（第2号）　全員賛成

内　容　既定の予算額に1億9134万6千円を追加し、予算総額を65億7564万6千円とする

ー主な歳入ー　（1万円未満切り捨て）

○地方交付税	6757万円
○財政調整基金繰入金	△2億6109万円
○繰越金	2億9710万円
○町債	6370万円

ー主な歳出ー　（1万円未満切り捨て）

○エアコン入替工事（庁舎3階）	56万円
○植栽管理委託料（道の駅）	30万円
○舗装新設･修繕等	1億2446万円
○町道新設改良工事（江網･久保田）	1979万円
○消防防災無線子局移設工事	367万円
○修繕料（田甲集会所）	184万円
○町民会館屋根防水修繕工事	540万円
○財政調整基金積立金	270万円

主な質疑

議員

問　エアコン入替工事は、3階コミュニティセンターの事務所を使用している水生活課が負担するべきでは。

答　庁舎管理の一環として行う。

緑の募金（家庭募金）緑化事業交付金の対象事業は。

この交付金は、募金に協力した市町村の緑化事業に幅広く使えるもので、今年度は植栽ではなく、多くの方が訪れる道の駅の高木解消に活用する。

町道新設改良工事の内容は。

江綱、久保田地内の横見川増水時に冠水し通行止めになる場所の道路かさ上げや両側に側溝整備などを行う。

消防防災無線子局移設工事の移設先は。精度に問題はないか。

町有地である天王山公園内に移設する。従前の精度と同等と考えている。

田甲集会所のブロック塀を撤去し、メッシュフェンスにするとのことだが、その経過は。

生涯学習課施設の緊急点検を実施したところブロック塀の控え壁が建築基準法に適合しておらず、通学路にも面しているため早急な修繕が必要と判断した。

提出者

道の駅の高木

江綱地内の冠水

田甲集会所のブロック塀

みなさまからの請願を審査

不採択　請願第1号　大型焼却施設の建設計画撤回を求める請願　賛成少数

提出者　天王山団地有志　代表　小島孟・中嶋敬行（他90名分の賛同署名）

紹介議員　戸谷照喜

趣　旨　大串に建設が予定されている大型焼却施設は、吉見町にとって何のメリットもなく、環境を破壊するだけ。計画を撤回してください。

採択　請願第2号　老朽化した東海第二原発の運転期間延長させないことを国に求める請願　賛成多数

提出者　さよなら原発東松山の会　代表　梅津達也　他398名

紹介議員　杉田しのぶ

趣　旨　東海第二原発は今年で運転開始から40年を迎え廃炉の予定であったが、昨年11月に運転期間20年延長の申請がされた。東海第二原発の圧力機器は40年使用を前提に造られており、延長されれば60年という長期にわたり、想定していない問題が生じる可能性がある。

東海第二原発の周辺には、わずか2.8km先に再処理工場が立地し、高レベル放射性廃棄物が大量に貯蔵されており、東海第二原発が事故を起した場合、複合災害の危険性がある。

東海第二原発の30km圏内には約96万人が住んでおり、迅速な避難は不可能なうえ、首都圏に住む3000万人にも被害が及ぶことも必至である。

老朽化した東海第二原発の運転期間延長を行わないように関係機関に働きかけることを要請するものである。

9月21日、関係機関に対して「老朽化した東海第二原発の運転期間延長させないことを求める意見書」を提出

■発議第1号　ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書（案）の提出について　全員賛成

提出者　**伊与田 隆議員**

9月21日、関係機関に対して提出

ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書

ゴルフ場利用税は、都道府県税として納付され、その7割がゴルフ場の所在市町村にゴルフ場利用税交付金として交付されている。その規模は平成28年度決算で、全国で325億円にものぼる。

吉見町におけるその交付金額は、平成29年度決算額で3,045万1,787円であり、貴重な財源となっている。

現在、地方自治体は、医療・介護などの社会保障、社会資本の老朽化への対応、子育て支援、教育などにおいて果たす役割が年々増大しており、これらの課題解決には財源確保が必要不可欠であることはいうまでもない。

また、地域活性化および地方創生に全力で取り組もうとしている中、ゴルフ場利用税交付金を廃止することは、国において進められている地方創生に逆行するものである。

国におかれては、ゴルフ場利用税がゴルフ場所在市町村にとって重要な財源であることを改めて認識していただき、現行制度が存続されるよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

自主防災組織率100%に
地域防災力の強化を

総務建設常任委員会　決算報告

杉田 しのぶ 委員長

平成29年度一般会計決算のうち、本委員会が所管する議会費、総務費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金及び予備費の関連科目、平成29年度特別会計決算のうち、百穴管理、下水道事業、農業集落排水事業、公設浄化槽事業、水道事業会計の歳入及び歳出について決算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

自主防災組織育成への取り組みは

平成29年度には75行政区すべてに自主防災組織が設置され、地域防災力の礎が築かれました。今後は、町の防災訓練に自主防災組織単位での訓練を取り入れるとともに、自主的な訓練を推奨し、地域防災力の向上に取り組んでいきます。

さくら台自主防災組織の防災訓練

子育て世代定住化促進奨励金の実績と併用できる補助金の種類とその周知の方法は

平成29年度の交付実績は37件で、町外からの転入は17件でした。町補助である住宅用太陽光発電システム設置費補助金のほか、県補助である多子世帯向け住宅取得等支援制度があり、窓口での情報提供とあわせて今後もより広く周知し、定住化の促進につなげていきます。

子育て世代定住化促進奨励金交付実績

	交付件数	内訳		
		町内	町外	Uターン
平成26年度	13	6	2	5
平成27年度	29	16	4	9
平成28年度	37	9	13	15
平成29年度	37	10	17	10
合計	116	41	36	39

土地改良区内での連携は図られているのか

土地改良事業を円滑に推進するため、合同の連絡会議を開催し、共通認識を図ることができる体制を築いています。さらに、農地中間管理事業などメリットのある制度を推進することにより、組織の強化にも努めています。これに対し「耕作者の高齢化により、離農者が増えているため組織が適正に運営していけるよう検討してほしい」と要望しました。

土地改良区の概要

土地改良区名	面積	主な施設
吉見領土地改良区	田 734.8ha 畑 295.0ha 計 1029.8ha	吉見排水機場、南吉見排水機場、台山排水路、文覚排水路ほか
西吉見南部土地改良区	田 84.0ha 畑 7.3ha 計 91.3ha	大沼、天神沼、三角沼、パイプライン、次郎坊門扉、永腐門扉ほか
東第二土地改良区	田 219.0ha 畑 — 計 219.0ha	東第二排水機場、樋管
田甲土地改良区	田 27.1ha 畑 — 計 27.1ha	堂ノ前池、寺の前池、開水路、パイプラインほか

吉見町産業交流拠点拡充整備予定区域は、県が実施している湛水防除事業の受益地になっているが、選定の経緯と今後の取り組みは

総合振興計画上の位置づけや企業ヒヤリングから得た企業動向、地元の合意形成の状況等により予定区域としています。今後は商業施設の立地に向けて関係機関と協議調整を行うとともに、地権者協議会及び開発事業者に対し、必要な支援を行っていきます。これに対し「町商工会に対しても情報提供等をしてほしい」と要望しました。

道路除雪後の雪だまりの処理方法は

通勤通学時間前までに除雪を完了させる必要があり、時間的な制約などから除雪後に雪だまりが一部道路に残り、通行に支障が生じた箇所がありました。処理については、作業を行った業者または職員により撤去しています。これに対し「除雪業者の負担を軽減するための具体的な策を講じてほしい」と要望しました。

夜を徹しての除雪作業

水道の漏水調査の方法は

近年漏水が多く発生している長谷、六の谷、松ノ平地区を対象に、現場調査期間約40日で延長10㎞の路面調査と320戸の戸別音聴調査を実施しました。その結果3か所の漏水を発見し、町指定給水装置工事業者により修繕を行いました。これに対し、「漏水の調査及び修繕は、有収率向上に有効であるため積極的に進めてほしい」と要望しました。

弁栓音聴調査

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第です。

認知症予防に「脳の元気度チェック」の受診を

教育福祉常任委員会　決算報告

岩田 晃一 委員長

平成29年度吉見町一般会計決算のうち、本委員会が所管する総務費、民生費、衛生費、教育費及び平成29年度特別会計決算のうち、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の歳入及び歳出について決算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

老人クラブが減少しているが対策は

老人クラブ活動の活性化は、高齢者の生きがいや健康づくりを推進し、長寿社会の実現と保健福祉の向上のために非常に重要なので積極的に取り組んでいきます。

ゲートボール大会（シニアクラブ連合会主催）

悠友館の筋力トレーニング機器の利用者が多いと聞くが実態は

初回に簡単な講習を受講すれば、以後町内在住の60歳以上の方は無料で利用できますので、定期的に利用する方が増加しています。

平成29年度の利用者、延べ2609人

よしみけやき保育所での国際理解保育とは

国際理解保育計画表に基づき、年6回、身近に感じられる食べ物や挨拶の違い、国旗などについて学んでいます。日本と他国は違いがあること、一人ひとりの違いを知り、認め合う心を育てています。

「ありがとう」は中国語で「しぇいしぇい」

今後の学童保育所の施設や運営について

現在、県内及び近隣の市町村から施設の設置状況や運営方法等の情報を収集し、調査、研究を行っており、慎重に検討を進めていきます。これに対し「保護者の負担を軽減し、児童の安全安心を確保しながらより良い学童保育所となるように検討してほしい」と要望しました。

町内2か所、登録者数86人

日本漢字能力検定の結果について

合格率は、小学校が94.1%、中学校が47.4%です。合格率の違いは、小学校ではほとんどが在学学年相当の級を受検したのに対し、中学校ではより高い級に挑戦した結果によるものと考えています。

各小中学校で受検します

図書館等複合施設の建設時期を2年後に変更したが、事業費等の影響は

今後2年間において、施設の管理運営計画及び実施設計について検討していただくため図書館等複合施設建設検討委員会の開催を予定しており、それらの事業費に影響があると考えられます。

外観イメージ図

医療費を抑制するための取り組みは

人工透析への移行を防止するために「生活習慣病重症化予防対策事業」や、健康づくりに向けた「よしみ健康づくりチャレンジポイント事業」に取り組んでいます。

慢性腎臓病予防教室

国保の被保険者の中で1年間、医療を受けていない方は

被保険者の中には、医療を受けていない方がいることは把握しています。これに対し「健康を維持して医療を受けない被保険者が増えることは最も医療費の抑制に資するものと考えるので、健康づくりへの意識を高めるような事業を積極的に推進してほしい」と要望しました。

30分フィットネス教室

認知症予防検診の受診率が低いが改善策は

「脳の元気度チェック」という名称で受診案内をいたしましたが、開始初年度ということもあり受診率が低かったため、今後未受診の方には再度案内を郵送するなどして受診率向上に努めていきます。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり可決すべきものと決した次第です。

一般会計決算

反対 討論　正成会 小林 周三議員

図書館等複合施設について。管理運営計画が検討されていないことを理由に詳細計画を先延ばし、完成を2年先に延ばすこととした。平成31年10月から消費税が2%増税される。本体工事の遅れにより約1500万円の税金が無駄になる。建設検討委員会でも消費税増額が町民に関わることの説明がなかったようだ。決算審議でも議会に対して消費税増額による損害の説明がなかった。

人　事

教育委員会教育長の任命同意

教育委員会教育長に
大澤（おおさわ）　幸正（ゆきまさ） 氏を
任命同意(再任)しました。

深谷市畠山891番地

教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に
大谷（おおたに）　真悟（しんご） 氏を
任命同意しました。

飯島新田675番地1

町議会を傍聴してみませんか

吉見町議会12月定例会 12月4日（火）から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。**TEL 0493-63-5024**（ダイヤルイン）

傍聴席は30で、自由席となっています。

イヤホンを貸し出しています（6台）。
事前の申込みをお願いします。

議会傍聴者数の推移

区　分	3月定例会	5月臨時会	6月定例会	9月定例会	12月定例会
平成28年	28人	開催なし	16人	35人	16人
平成29年	43人	38人	49人	50人	30人
平成30年	36人	開催なし	30人	26人	—

議案審議結果

町長提出議案

議案番号	件名	結果	岩田	戸谷	秋山	伊与田	尾崎	神田	荻野	岩崎	宮崎	安孫子	杉田	小林	小宮	内野
議案第51号	吉見町税条例等の一部を改正する条例　4ページ参照	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	議長
議案第52号	吉見町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例　4･5ページ参照	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	議長
議案第53号	吉見町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第54号	平成30年度吉見町一般会計補正予算（第2号）　6ページ参照	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第55号	平成30年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第56号	平成30年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第57号	平成30年度吉見町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第58号	平成30年度吉見町百穴管理特別会計補正予算（第1号）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第59号	平成30年度吉見町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第60号	平成30年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第61号	平成30年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第62号	平成30年度吉見町水道事業会計補正予算（第2号）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第63号	平成29年度吉見町一般会計決算認定について	認定	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	議長
議案第64号	平成29年度吉見町国民健康保険特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第65号	平成29年度吉見町後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第66号	平成29年度吉見町介護保険特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第67号	平成29年度吉見町百穴管理特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第68号	平成29年度吉見町下水道事業特別会計決算認定につい	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第69号	平成29年度吉見町農業集落排水事業特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第70号	平成29年度吉見町公設浄化槽事業特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第71号	平成29年度吉見町水道事業会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第72号	教育委員会教育長の任命同意について　12ページ参照	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第73号	教育委員会委員の任命同意について　12ページ参照	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

議員提出議案　7ページ参照

議案番号	件名	結果	岩田	戸谷	秋山	伊与田	尾崎	神田	荻野	岩崎	宮崎	安孫子	杉田	小林	小宮	内野
請願第1号	大型焼却施設の建設計画撤回を求める請願	不採択	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	議長
請願第2号	老朽化した東海第二原発の運転期間延長させないことを国に求める請願	採択	●	●	×	●	●	●	●	×	×	×	●	×	×	議長

議員提出議案（追加）　7ページ参照

発議第1号	ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書（案）の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
発議第2号	老朽化した東海第二原発の運転期間延長させないことを求める意見書（案）の提出について	可決	●	●	×	●	●	●	●	×	×	×	●	×	×	議長

町長提出議案（追加）

議案第74号	平成30年度吉見町一般会計補正予算（第3号）　5ページ参照	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

町政に対する 一般質問

そこが聞きたい

こうしてほしい

一般質問とは?

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会だよりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、お知らせしています。

地域要望の早期達成を

» 伊与田 隆 議員

問1 新要望申請書の現状と今後の取り組みは。

答 政策会議を開き、要望申請書に対し検討の方法や検討項目について協議を進めている。今後は、政策会議で現場の確認、検討項目について審議を行い、工事の優先度判定を実施して、来年度から予算に反映させていく。

問 財政調整基金を維持しながら、財源を地域要望に活用するのか。

答 必要な事業や優先順位の考えのもとで、地域要望については、財政調整基金を有効に活用する。

問 従前の要望書と新しくなった要望申請書と変更のあった点は。

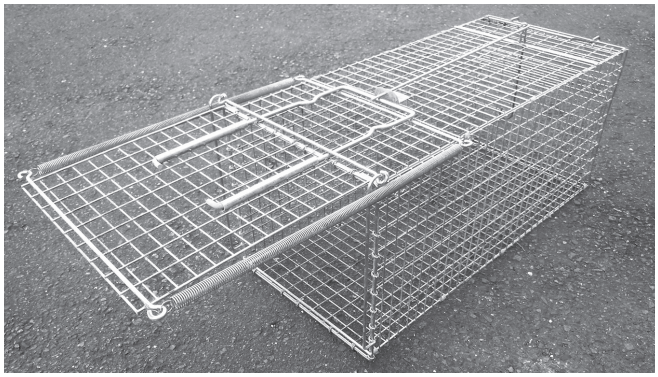
答 変更となった箇所は2点ある。1点目は、地元の考え方を伺いたく、要望の理由を追加。2点目は、地域の協力体制が整った状態で要望していただけるよう用地買収を伴わない場合でも同意書の提出をお願いしている。

問2 町では、箱わなの貸出しを行っているが、個人で購入した場合に助成金の支給が出来ないか。

答 アライグマなどによる農作物被害は、年々増加傾向にあり、72基ある箱わなが不足することもある。町民自ら対策ができるよう「アライグマ捕獲従事者養成講習会」を開催している。現在70人に従事者証を発行している。

問 要望したいのは、捕獲奨励金や箱わなの購入費補助金制度についてだが、町長の考えは。

答 受講者には、奨励金も含め今後しっかり検討する。



設置には従事者証などが必要

地域で安心して暮らせる取り組みは

» 正成会 小林 周三 議員

問1 認知症の取り組みについて

答 平成29年3月に実施した吉見町認知症高齢者実態把握調査によると、認知症予防評価結果で、65歳以上の高齢者の40.5%がリスク該当者（予備軍）と判定されています。さらに、平成29年から年度年齢70歳の方を対象に比企医師会協力医療機関において「認知症予防検診（吉見町脳の元気度チェック）」を実施しています。また、認知症の方やその家族、地域の方がつどい、一緒に交流・活動する「認知症カフェ」を常磐苑が月1回開催しています。

問2 介護保険利用について

答 介護保険申請受付の際には、介護認定が望ましいのか、地域支援事業で実施している介護予防「新しい総合事業」が適切であるか「基本チェックリスト」を活用し対象者の把握に努めています。平成29年度の要介護認定者の数は699人、要支援認定者の数は90人です。また、介護予防事業対象者となった方151名のうち、96名の方が利用しています。引き続き、高齢者が地域において安心して自立した日常生活を営むことができるよう積極的に介護予防事業推進に取り組んでいきます。

問3 大規模災害時の職員の対応について

答 吉見町地域防災計画の見直しを行い大規模発生時の対応マニュアルを策定しました。この中で班分けを行い、職員の役割分担や行動内容をより明確にし、配置された部署での活動が、より円滑に実施できるよう定めています。

安全・安心まちづくり

» 正成会 神田 隆 議員

問1 吉見百穴は土等が流れ、経年劣化が心配されるが、地盤状況や崩落等の調査状況は。また、緊急時の対応及び土砂等の流出防止対策は。

答 地盤状況や崩落等の詳細な調査は行っていません。明治20年の発掘調査以降、既に131年が経過し、近年では経年劣化による岩盤の崩落も発生しています。そのような場合は、速やかに立ち入りを制限するなどの対応をしています。

問2 吉見中学校のプレハブ校舎や町所有のプレハブ物置などの数及び点検・調査状況は。

答 教育委員会所管の床面積10㎡以上のプレハブ建物は、吉見中学校、ふれあい広場の本部棟、物置などが4棟、このほか町所有が4棟あり、それぞれ10年以上の使用となっています。点検等については、建物を安全に使用するため、職員の目視などの日常点検及び定期点検を実施しています。今後においても、安全に配慮しながら必要な補修を行い、適正な施設の維持管理に努めていきます。

問3 通学路のブロック塀、看板及び転落防止柵の安全点検の内容と対応は。

答 小中学校では、教職員による安全パトロール、教職員やPTAによる朝の交通指導の際にも通学路の危険箇所の情報収集や安全点検を実施しています。なお、安全点検の中で、学校より危険箇所の情報があった場合は、関係部署と連携を図りながら対応しています。

その他の質問
・久保田地内の町道7106号線側横見川に使用されている柵の高さの不備について

通学路（久保田地内）

逃げ遅れゼロ マイタイムラインの推進を

» 公明党 秋山 真美 議員

問1 災害時の要配慮者の支援として防災カード等の作成･配布を。

答 緊急時に必要な情報を記入し携帯することで、救援活動や安否確認などに活用できるカードであり、障がいがある方などにはヘルプカードの携帯を促進している。日ごろからの災害に対する意識と備えはとても大切。誰もが活用できる防災カードの普及について調査研究する。

問 マイタイムラインの推進を。

答 マイタイムラインは近年の豪雨対策等に対する逃げ遅れゼロを目標に、自分の避難行動を作成する取り組み。先進事例などを調査研究する。

問 命を守るため、家屋の耐震化や家具の固定など家庭内安全対策の推進を。

答 木造家屋は、耐震診断及び耐震改修に対する補助金交付制度がある。家具の固定化の重要性の周知啓発活動として、今年度はチラシを作成し、全戸に配布する。今後も支援策については検討していく。

問2 ワクチン接種は子どもの健康を守る有効な手段であり、家族の幸福、社会の安定にもつながる。3種類の任意接種ワクチン（ロタウイルス、おたふくかぜ、インフルエンザ）の公費助成について伺う。

答 町の予防接種事業は、国が定める予防接種法に基づき進めている。国の定期接種化の検討状況等注視し、子育て支援の観点としても検討していく。

問 骨髄移植など特別な事情により再度予防接種が必要となる方への再接種費用の助成について伺う。

答 再度予防接種が必要となる方の健康を守ることは重要、対応について研究する。

学童保育所への送迎費用は全額町で負担を

» 日本共産党 杉田しのぶ 議員

問1 町は学校から学童保育所へのタクシー代を送迎支援として1クラブにつき年間46万6千円の補助を行っているが、実際はいくらかかっているのか。

答 平成29年度の実績では、のびっこクラブが約110万円、いちごクラブが約150万円。

問 吉見町は、小学校6校に対して2クラブと埼玉県内では1番低い設置状況。学校単位に設置がされていれば送迎費用もかからない。学童保育事業は保育所同様に町にとってはなくてはならない事業。町に代わって担っている父母会へなされるべき支援、つけるべき予算ではないかと思うが、町長の見解は。

答 送迎費を運営費の中から支出をしているということは、タクシーを利用しない児童も負担していることになると思うので、検討していきたい。吉見町の学童保育所の数は県内でも極めて少ない数。今後、余裕教室を活用し地域ごとに考えていくべきかと思うところもあるが、すぐ取り組むということはなかなかできないので、指導員の処遇改善を進める中で送迎支援についても今後しっかり検討していきたい。

問2 新ごみ処理施設の建設地には「和解条項」がある。建設を止めるために裁判も辞さないという状況もある中、明確にしておくべきと思うが、構成市町村長の見解を改めて確認していただきたい。

答 就任以来、今日までそのような話をしたことはない。今後検討したい。

その他の質問
- 学童保育指導員の処遇改善を
- ブロック塀の撤去や改修に対する助成金制度の創設を
- 安全･安心メールを普及させる取り組みを
- 超高密度気象観測システムPOTEKAの設置を

いちごクラブ

のびっこクラブ

一部事務組合報告

一部事務組合とは、複数の地方公共団体などが行政サービスの一部を共同で行うことを目的に設置する組織。吉見町は4つの一部事務組合に参加しています。

北本地区衛生組合議会定例会
し尿処理

» 岩田 晃一 議員

日　　時　平成30年7月27日（金）午前9時から
場　　所　北本地区衛生組合議場
出席議員　岩田晃一　戸谷照喜　秋山真美

昨年度、搬入量は微増

吉見町の平成29年度搬入量は、5,747.74kℓで前年度に比べ265.95kℓの増量です。町内のゴルフ場からのし尿の搬入量が増加したことや新規施設の浄化槽汚泥が増加したことが主な要因であります。なお、上程された議案は、3件です。

付議された主な議案

○議案第8号　平成29年度決算の認定について

歳入決算額は、3億3080万4761円。歳出決算額は、2億9480万7526円。歳入歳出差引額3599万7235円。

いずれも原案のとおり認定、可決されました。

埼玉中部資源循環組合議会定例会
ごみ処理（可燃、粗大）

» 岩崎 勤 議員

日　　時　平成30年8月9日（木）午前10時から
場　　所　吉見町議会議場
出席議員　内野正美　岩崎 勤　小林周三

用地買収等事務事業進む

管理者から1月から6月までの組合事務のほか、都市計画決定や農振除外の手続き、環境影響評価の縦覧及び説明会、用地買収等多くの事務事業が進んでいるとの報告がありました。なお、上程された議案は、3件です。

付議された主な議案

○議案第8号　平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額は、5億6146万8722円。歳出決算額は、5億632万938円。歳入歳出差引額5514万7784円。

いずれも原案のとおり可決、認定されました。

比企広域市町村圏組合議会定例会
消防、斎場、介護認定・障害支援区分審査会

» 伊与田 隆 議員

日　　時　平成30年8月10日（金）午前10時から
場　　所　東松山市議会議場
出席議員　内野正美　伊与田 隆

新斎場の建設はじまる

管理者から東秩父分署新庁舎が3月から業務を開始したこと、斎場建設工事が議会の議決を経て着工予定、平成33年6月の完成を目指す等の報告がありました。なお、上程された議案は、11件です。

付議された主な議案

○議案第20号　請負契約の締結について

斎場建設工事の請負契約を18億8460万円で締結することについて

○議案第26号　平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額は、7871万5047万円。歳出決算額は、7245万9746円。歳入歳出差引額625万5301円。

○議案第27号　平成29年度消防特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額は、33億1165万1305万円。歳出決算額は、31億5185万182円。歳入歳出差引額1億5980万1123円。

いずれも原案のとおり可決、認定されました。

新斎場のイメージ図

議会の魅力をどう伝えるか

平成30年10月17日（水）、フレサよしみで埼玉県町村議会議員研修会が開催されました。

「議会改革をめぐる最近の動向と課題」について、江藤俊昭氏（山梨学院大学法学部教授）により講演が行われました。

表紙の題字

馬橋 岩夫さん 82歳　丸貫在住

持病はなく、何の薬も飲んでいない、健康長寿の秘訣は肉を食べること。「田んぼを回って歩くのが趣味なのよ」と奥様の美津子さん。金婚式を迎えられた仲の良いご夫婦です。

平成30年9月17日（月）、吉見町敬老会にて

表紙の写真によせて

平成30年10月6日（土）、ふれあい広場で1週間順延になったよしみ幼稚園の運動会が行われました。

開会式では、来賓の呼びかけに「おはようございます」「はい!」と大きな声でこたえていました。走ったり、踊ったり、太鼓や組体操も上手にできました。おうちの方、おじいちゃんおばあちゃんもいっぱい応援してくれました。

編集後記

平成最後の夏、長かった猛暑も終わり、さわやかな季節が訪れました。

スポーツ庁の発表では、2017年調査で70代の体力が男女とも過去最高を更新。本誌10ページの教育福祉常任委員会決算報告には60歳以上が無料で利用できる悠友館の筋力トレーニング機器の利用者が増加とあります。筋力を鍛えると転倒予防にも効果があるそうです。

運動は年齢に関係なく健康増進につながります。一人一人の体力には違いがありますので自分に合う運動を探してみませんか。車での移動では気づかないことも発見できそうなウォーキングもいいですね。（秋山）

吉見町議会QRコード

議会だより編集特別委員会

委員長	秋山真美
副委員長	杉田しのぶ
委員	伊与田隆
委員	戸谷照喜
相談役（議長）	内野正美

この議会だよりは再生紙を使用しています。

埼玉県　吉見町議会　平成30年11月1日発行
編集　議会だより編集特別委員会
比企郡吉見町下細谷411　TEL 0493（63）5024